

有機農産物の認証（表示）制度及び島根県での取組状況について

島根県農林水産部

1 有機農産物について

1) 有機農業とは（「有機農業の推進に関する法律」第1条）

- 科学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法

2) 有機農業等の認証（表示）制度

①有機農産物の認証制度（日本農林規格（有機JAS）による認証）[国]

○認証の仕組み

- ・農林水産大臣が認定した「認定登録機関」が有機農産物の生産者を認定
- ・認定を受けた生産者は基準を満たして生産された農産物を有機農産物として出荷

○基準

- ・堆肥等による土づくりを行い、播種・植付け後2年以上（多年生作物の場合は3年以上）原則として化学肥料及び農薬は使用しないこと

○表示方法

- ・「有機農産物」、「有機〇〇」、「オーガニック〇〇」

○認定事業者の調査

- ・有機JAS規格に基づく生産が行われているかを確認するため年1回調査を実施

②島根県エコロジー農産物推奨制度 [島根県]

（化学肥料・農薬栽培期間不使用）

○仕組み

- ・生産者から県への申請、県知事がエコロジー農産物として認証

○基準

- ・堆肥等による土づくりを行い、栽培期間において原則として化学肥料及び農薬を使用しないこと

○表示方法

- ・島根県エコロジー農産物「化学肥料・農薬栽培期間中不使用」

○認証者の調査

- ・毎年度、ほ場及び栽培記録、残留農薬など抽出調査を実施

③特別栽培農産物 [国]

○仕組み

- ・化学肥料及び農薬を栽培期間中に使用しなかった場合に表示が可能
- ・自己責任の制度であり、認証などは行われない。

○基準

- ・栽培期間において原則として化学肥料及び農薬を使用しないこと

○表示方法

- ・特別栽培農産物「農薬、化学肥料：栽培期間中不使用」



2 島根県での取組状況

1) 有機JAS制度

- 認定事業者（生産行程管理者） 53事業体

- 主な認証品目 米、ほうれん草など軟弱野菜、桑及び大麦若葉、エゴマなど健康食品素材

2) 島根県エコロジー農産物推奨制度（栽培期間中不使用）

- 認証件数 125件

- 主な認証品目 米、野菜（ほうれん草等軟弱野菜、にんじん及びびれいしょ等根菜類、トマト及びきゅうりなど果菜類）、果樹（ブルーベリー等）

有機農業の経済性について

島根県農林水産部

有機農業の主な優位性

- 有機農産物など「環境に配慮した農産物」を購入したいという消費者の意向は高い。
- 有機農産物の購入の際の価格の上乗せは、2～3割までとの回答が最も高い。
- 県の先進事例(米)では、消費者や生協などへの直接販売を行い、流通経費を削減することで、消費者にとって購入しやすい価格と生産者にとっての収益を確保できる価格を実現している。
- 施設野菜の事例は、土づくり病害虫対策など有機栽培技術の徹底により、収量とハウス内での年間の栽培回数の上昇を図り、高収益を実現している。

1 消費者の志向について

①有機農業を初めとする環境保全型農業に関する意識・意向調査(平成19年11月:農林水産省)結果より

○有機農産物の購入に関する消費者の意向

- ①現在購入している 43.8% ②一定の条件がそろえば購入したい 54.7%

②有機・減農薬野菜への価格許容範囲の関係(「有機農産物の流通とマーケティング」2007年4月より)

○慣行栽培と比較とした有機野菜の価格許容範囲

- ①2割高 30.3% ②1割高 27.6% ③同じ価格 16.5% ④3割高 10.5%

2 先進的有機栽培農家の収益性の事例(農業経営研究第12号、第13号:島根県農業技術センターより)

1) 水稻(平成21年度調査)

[単位:円]

	A事例	B事例	一般栽培	備 考
販売金額	192,000	153,417	131,070	A事例は消費者への直接販売が中心、B事例は生協中心
収量(kg)	480	350	510	
1kgあたり単価	400	438	257	
経営費	75,491	85,833	94,912	肥料費、種苗費、燃料代など 機械施設等、A事例は収穫・乾燥調製は作業を委託 借地代、出荷資材費等、B事例は借地による経営
物材費	69,596	23,780	33,950	
償却費	2,400	40,262	22,338	
その他	3,495	21,650	38,624	
所得	116,509	67,584	36,158	
所得率	60.7%	44.1%	27.6%	
総労働時間	28.1	28.3	30.0	

※数値は10aあたり、一般栽培は農業経営指導指針(平成20年3月:島根県)より

2) 施設野菜(平成20年度調査)

[単位:円]

	ハウレンソウ	コマツナ	ミズナ	備 考
販売金額	653,333	639,667	640,700	契約販売が中心(県内外のスーパー等)
収量(kg)	1,176	1,212	1,266	
1kgあたり単価	556	528	506	
経営費	328,964	339,844	358,273	種苗費、肥料費、燃料代等 園芸施設、農機具 時間単価700円、雇用労働割合85%で試算 出荷経費、共済掛け金
物材費	63,317	61,650	58,318	
償却費	36,963	36,963	36,963	
雇用労働費	145,001	155,711	170,586	
その他	83,683	85,520	92,406	
所得(推計)	324,369	299,823	282,427	
所得率	49.6%	46.9%	44.1%	
総労働時間	243.7	261.7	286.7	

※数値は10a1作当たり。調査農家は、上記3品目の他、葉ネギ、シュンギクなどと組み合わせ、1ハウスあたり年間5～6作の作付けを実施

※雇用労働費については、品目毎の内訳を算定できないため、総労働時間の85%(生産者聞きとり数値)で試算した。